

SDGsの達成に向けて

10月4日(金)、明治安田生命保険相互会社と包括連携協定を締結しました。

今後は、同社と連携を図りながら、SDGs・カーボンニュートラルの普及啓発や産業・観光振興の取り組みを進めていきます。



本市の魅力が詰まったフレーム切手

10月4日(金)、本庁で、市誕生20周年記念フレーム切手の贈呈式を行いました。

このフレーム切手は、市誕生20周年を記念して日本郵便(株)九州支社が作成したものです。

切手には、本市の風景や行事などの写真が使用され、魅力あるフレーム切手となりました。



子どもたちが興味津々！化石講演会

9月22日(日)、S S プラザせんだいで、真鍋真氏(国立科学博物館副館長)による化石講演会を開催しました。

講演では、甕島で発見された恐竜化石や、最新の恐竜研究に関する説明が行われました。質問コーナーでは子どもたちから次々と質問され、講師からの回答にも熱心に耳を傾けました。

令和7年4月には、甕ミュージアムが開館します。



3000人の熱い戦い

9月22日(日)、国道3号向田側で、425年目の川内大綱引が開催されました。

令和6年3月に、国の重要無形民俗文化財に指定されてから初めての開催となりました。およそ3000人が上方と下方に分かれ、熱い戦いを繰り広げました。今年は下方の勝利で幕を閉じました。



子どもたちの安全のために

10月8日(火)、(株)稲盛工業から交通安全旗100本の寄贈がありました。

この交通安全旗は、児童の安全安心な登下校を願って寄贈されたもので、市内の各小学校・義務教育学校に配布しました。



平和なまちを、後世につなぐ

10月9日(水)、S S プラザせんだいで、薩摩川内市戦没者追悼式を執り行いました。

式には遺族、来賓、市内の小学6年生約140人を含む約400人が参列し、歴史資料館の学芸員による戦時の資料解説や市内の中学校吹奏楽部による慰霊演奏が行われました。また、小学生代表4人は「平和なまちを、後世につなぐことが私たちの役割」と平和に対するメッセージを読み上げました。



大盛況！鳥丸ふるさと祭り

9月22日(日)、旧鳥丸小学校体育館で、鳥丸ふるさと祭りを開催しました。

当日は天候不良の中、200人近くの来場客があり、ふるまいのおにぎりや味噌汁、各団体の舞台発表などを楽しみました。また、劇団とんぼによる振り込め詐欺防止の演劇には、鳥丸駐在所の職員も出演し、会場は大いに盛り上がりしました。



【情報提供：鳥丸地区コミュニティ協議会】

技能実習生、日本文化を体験

9月23日(月)、市国際交流センターで、多文化共生事業在住外国人交流会を開催しました。

これは、市内に在住する外国人技能実習生を対象に日本文化を体験・交流してもらうもので、48人が参加しました。鹿児島純心大学の学生の協力のもと、浴衣の着付けや書道の体験、防犯・交通教室でルールを学ぶなど楽しい1日を過ごしました。



市民と消防職員の連携で命を救う

10月9日(水)、市消防局で、一般消防協力者および消防職員表彰式を行い、感謝状と記念品を贈呈しました。

この表彰は、心肺停止で倒れた男性を古川誠さん、宇都宮 稔さん、通勤途中の消防職員2人が連携して通報、心肺蘇生を行ったことを称えたものです。

速やかな救命処置のおかげで、男性は病院搬送後、一命を取り留め社会復帰しました。



21年目も笑顔でスタート

10月12日(土)、川内川右岸河川敷で、市誕生20周年を記念したサプライズ花火が打ち上げられました。

これは、(株)太洋花火、(有)六葉煙火、西日本花火(有)の花火事業者により打ち上げられたもので、約300発の花火が夜空を彩り、本市の20歳の誕生日に花を添えていただきました。



市のさらなる発展のために

9月24日(火)、(株)福重電工から市誕生20周年の記念と市のさらなる発展のために活用していただきたいと寄附金の贈呈がありました。

今回いただいた寄附金は、少子高齢化の進行、人口減少社会の到来、市民ニーズの多様化などに対して、未来の姿の実現を目指した政策に役立てられます。



もしもの時の備えを寄贈

10月2日(水)、(株)植村組から防災備蓄品が寄贈され、感謝状贈呈式を行いました。

寄贈いただいた防災備蓄品は、いつ起こるか分からない災害に備え、いざという時に一人でも多くの市民の皆さんへ届けてほしいと送られたもので、発電機や非常食などが寄贈されました。

